

(趣旨)

第1条 この規程は、四日市市公営企業職員の給与の種類及び基準を定める条例(昭和33年四日市市条例第15号。以下「条例」という。)第9条の規定に基づき、市立四日市病院に勤務する企業職員(以下「職員」という。)に支給する特殊勤務手当(以下「手当」という。)に関して必要な事項を定めるものとする。

(手当の支給)

第2条 職員が別表の勤務内容に定める勤務に従事したときは、同表においてその勤務に対応して定める手当額を当該職員に対して支給する。

(一部改正〔平成21年病院管理規程7号〕)

(その他の事項)

第3条 条例及びこの規程に定めるもののほか、手当の支給に関しては、四日市市職員特殊勤務手当支給規則(昭和32年四日市市規則第1号)の規定を準用する。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、公布の日から施行する。

(一部改正〔令和2年病院管理規程6号〕)

(新型コロナウイルス感染症に係る一定の業務に従事した者に支給する感染危険手当の特例)

2 職員が新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))であるものに限る。))に対処するため、令和2年2月1日から令和5年5月7日までの間に、次に掲げる業務に従事したときは、別表に規定する手当に加算して感染危険手当を支給する。

(1) 新型コロナウイルス感染症の患者に接して行う診療、看護その他これに類する業務

(2) 新型コロナウイルス感染症の患者又はその疑いのある者(次項において「患者等」という。)からの検体の採取及び採取にあわせて行う診療、検査その他これに類する業務

(3) 新型コロナウイルス感染症の検査のために採取した検体と同じ検体を用いて行うインフルエンザ等の検査業務

(4) 新型コロナウイルス感染症の患者が使用した施設等の消毒その他これに類する業務

(5) 前各号に掲げる業務のほか、管理者がこれらに相当すると認めるもの

(追加〔令和2年病院管理規程6号〕、一部改正〔令和5年病院管理規程3号〕)

3 前項の感染危険手当の額は、業務に従事した日1日につき、次の各号に掲げる業務の区分に応じ、当該各号に定める額とする。

(1) 患者等の身体に接触して又は患者等に長時間にわたり接して行う業務その他管理者がこれに準ずると認める業務 4,000円

(2) 前号に掲げる業務以外の業務 3,000円

(追加〔令和2年病院管理規程6号〕)

4 同一の日において、附則第2項各号に掲げる業務のうち2以上の業務に従事した場合の前項に規定する手当の支給についてはこれを併給せず、当該手当のうち額が最も高いもの(その額が同額の場合にあっては、いずれか一の手当)を支給する。

(追加〔令和2年病院管理規程6号〕)

附 則(平成19年12月28日病院管理規程第15号)

この規程は、平成19年12月28日から施行する。

附 則(平成20年4月30日病院管理規程第5号)

この規程は、平成20年5月1日から施行する。

附 則(平成21年4月1日病院管理規程第7号)

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則(平成21年12月28日病院管理規程第8号)

この規程は、平成22年1月1日から施行する。

附 則(平成22年3月16日病院管理規程第1号)

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月30日病院管理規程第4号)

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成27年4月1日病院管理規程第3号)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成31年3月20日病院管理規程第1号)

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則(令和2年7月31日病院管理規程第6号)

この規程は、公布の日から施行し、改正後の市立四日市病院企業職員特殊勤務手当支給規程の規定は令和2年2月1日から適用する。

附 則(令和5年5月8日病院管理規程第3号)

この規程は、公布の日から施行する。

別表(第2条関係)

(一部改正〔平成19年病院管理規程15号・20年5号・21年8号・22年1号・24年4号・27年3号・31年1号〕)

種類	勤務内容	区分	手当額	備考
行旅病人及び死亡人処理 手当	看護師が死体処理に従事したと き。	1件	1, 000円	
感染危険手当	助産師、看護師(これに準ずる 者を含む。)、臨床工学技士が 市立四日市病院に勤務したと き。	日額	660円	ただし、病院事業管理 者が、著しく危険性又 は特殊性が高いと認め た業務に従事したとき は、540円以内の額を 加算することができる。 る。
	その他の職員が市立四日市病院 に勤務したとき。	日額	270円	
診療放射線取扱・感染危 険手当	診療放射線技師及びこれに準ず る者(看護師を除く。)が、放射 線を取り扱う業務に従事したと き。	日額	500円	
解剖手当	医師、臨床検査技師及び看護師 が死体解剖に従事したとき。	1件	2, 000円	
分娩手当	産婦人科医師が分娩業務に従事 したとき。	1件	20, 000円	母体数を件数とする。
ハイリスク分娩手当	産婦人科医がハイリスク分娩業 務に従事したとき。	1件	20, 000円	母体数を件数とし、分 娩手当に加算する。
分娩指導手当	分娩業務に従事するとともに医 師免許取得後3年目から5年目の 医師に分娩指導を行ったとき。	1回	10, 000円	1母体につき1回とす る。
夜間看護手当	二又は三交替する助産師及び看 護師等が、勤務の一部又は全部 が深夜において看護等の業務に 従事したとき。	1回	4, 000円	その勤務が深夜の全部 を含む勤務である場合 8, 000円 二又は三交替しない助 産師及び看護師等の場 合 3, 500円
		8回を超え1 2回までの 場合	夜間看護手当 の支給を受け る勤務の回数 が1か月におい て8回を超える 勤務の回数1回 につき手当額 の5割を加算し 支給する。	
		12回を超え る場合	夜間看護手当 の支給を受け る勤務の回数 が1か月におい て12回を超え る勤務の回数1 回につき手当 額の10割を加 算し支給す る。	
日額をもって支給するものについては、特別に定めるものを除き、1日につき二つ以上異なった業務に従事しても併給せず、手当額の高額なもののみを支給する。				